

様式第3号

「広島県 普及啓発事業補助金」

子どもたちを DV から守ろう ~DV・データ DV を未然に防ぐために~

事業収支決算書

1 収入の部

区分	決算額	費用の明細
広島県 普及啓発事業補助金 自己資金	90,000 1,107	補助費決算額 子どもステーション
計	91,107	

2 支出の部

区分	決算額	費用の明細
講師報償費	48,000	8,000円×2人×3回
旅費	6,452	280.61km×20円、駐車場(840)
需用費	25,820	チラシ、資料印刷費・紙代
使用料	10,835	会場代(尾道4235、三原6600)
計	91,107	

様式第7号

配偶者等からの暴力被害者支援事業費補助金実績報告書

令和6年4月8日

広島県知事様

団体名 NPO 法人こどもステーション  
所在地 福山市神辺町道上 2862-1  
代表者氏名 奥野 しのぶ

令和6年3月28日付け指令こ家第1281号で交付決定の通知を受けたこの補助金の補助事業が完了したので、関係書類を添え次のとおり報告します。

1 事業の区分

普及啓発事業

2 補助事業の実績額

事業経費の 実支出額 a	寄附金その他の 収入 b	補助対象経費 a-b(c)	交付決定額 d	差引過不足額 c-d
91,107	1,107	90,000	90,000	0

3 補助事業の実施期間 令和5年 10月 1日から  
令和6年 3月 31日まで

4 事業実績書 様式第8号のとおり

5 添付書類

(1) 補助事業に係る収支決算書(様式第3号)

(2) その他補助事業の実施が確認できる資料

- ①開催チラシ
- ②アンケート集約
- ③掲載された新聞記事
- ④謝金・交通費の支払明細書
- ⑤領収証

## 事業実績書

### 1 事業の内容

広島県東部地区(尾道市、三原市、府中市)において、一般の方に対して DV に関する知識・理解を深めるため、地域の会員・協力者の協力を得て、こどもステーションから、アウェア認定 DV・デート DV 専門相談員を派遣して、研修会を開催した。

研修内容には、DV の実態や DV が起こる社会構造のみならず、デート DV、DV がもたらす子どもへの影響、DV は児童虐待であること、デート DV 防止教育の必要性と有効性についても盛り込んだ。

尾道では、地域会員が広報に力を入れ、およそ 8000 枚のチラシを市内の小中学校の生徒に配布した。

### 2 事業の成果

参加者は、尾道会場 21 人、三原会場 16 人、府中会場 16 人と見込みよりも少なかったが、参加された方の共感があり、その後、各地に招かれて啓発講座を開催することに繋がっている。

DV 被害当事者の参加もあり、親子で参加され、その後、こどもステーションの活動に繋がった方もあり、また、すでにつながっていた方には、「知識が力になった」との声も聴いている。

また、これまで家庭の中にあった DV に気づくことができた方や、子どもとの関わり方の中にも支配があったことに気づかれた方など、たくさんの気づきが見られた。

参加された一般男性からは、「自分の DV 加害的な行動に気づいた」という声や「離婚して子どもと別居し、その子が既に大きくなっているが、自分の支配的な行動に子どもを縛っておかずには離婚できてよかった」というような声もあった。

わずかだが、市議会議員や行政職員の方の参加もあり、今後の活動に繋がっていくことを期待する。

実施者自身が、大人に対して DV 啓発を進めていくことの有効性を感じ、希望に繋げることを実感できたのが何よりの成果だと感じる。

«本日の講座で印象に残ったことを教えてください»

- ◎DVの認識が変わりました
- ◎改めて、「暴力を選ばない力を身につける」ことの大切さを身にしました。
- ◎数字やグラフなどデータがあってわかりやすかった
- ◎全て。素晴らしいです。参加されている方々が傾きながら聞いていたのが印象的でした
- ◎DV加害の根底にあるものについて、初めて知りました。
- ◎デジタル性暴力のこと
- ◎DVが起こる構造の話。ジェンダー不平等が根っこにあり、力と支配があること。  
DVの種類によって、被害者が加害行為に加担してしまうことがあることや被害者が責められる構図ができやすいこと。
- ◎講師の方が会場に来られている参加者の中にDVの苦しさでしんどい思いを持つ方のために、かなり配慮した進行の様子にびっくりしました。
- ◎ジェンダー平等の理解
- ◎非常に勉強になりましたし、見えない家庭内で起きていることなので、もう一度家庭とDVについて見直したいと思います。
- ◎日本のジェンダー不平等について世界的な低さをあらためて残念に、思う
- ◎DVは、我が家には関係ないと思っていたが、DVだらけの家庭だ！と気付かされた、参加してよかったです。
- ◎DVは自分には関係のないことだと思っていましたが、話を聞いて、自分もしていると思ったので、自分達も気を付けないといけないと思った。
- ◎これからのお子さんにおこってくるネットやSNSを使ったデジタル性の暴力など、本当に怖いなあと思いました。
- ◎思っていたよりも、デートDVの種類が多く驚きました。1人1人が平等に認められることが根本的にない社会が日本にもあると知り、ショックです。日本も男女平等な社会になってほしいです。
- ◎DVは病気ではない、という部分。教育現場ではもっと導入したり、厚生プログラムの実施で意識の向上がはかれるのではないかと思いました。
- ◎ジェンダーとDVの関係性。離婚後の共同親権。DV(加害者)だった父親の動画
- ◎「紅茶と同意」の動画、はとても分かりやすくてよかったです。娘にも見せてあげたいと思った。自分を大切にしてもらいたい。

«本日の講座で印象に残ったことを教えてください»

- ◎DVの認識が変わりました
- ◎改めて、「暴力を選ばない力を身につける」ことの大切さを身にしました。
- ◎数字やグラフなどデータがあってわかりやすかった
- ◎全て。素晴らしいです。参加されている方々が傾きながら聞いていたのが印象的でした
- ◎DV加害の根底にあるものについて、初めて知りました。
- ◎デジタル性暴力のこと
- ◎DVが起こる構造の話。ジェンダー不平等が根っこにあり、力と支配があること。

- DVの種類によって、被害者が加害行為に加担してしまうことがあることや被害者が責められる構図ができやすいこと。
- ◎講師の方が会場に来られている参加者の中にDVの苦しさでしんどい思いを持つ方のために、かなり配慮した進行の様子にびっくりしました。
- ◎ジェンダー平等の理解
- ◎非常に勉強になりましたし、見えない家庭内で起きていることなので、もう1度家庭とDVについて見直したいと思います。
- ◎日本のジェンダー不平等について世界的な低さをあらためて残念に、思う
- ◎DVは、我が家には関係ないと思っていたが、DVだらけの家庭だ！と気付かされた、参加してよかったです。
- ◎DVは自分には関係のないことだと思っていましたが、話を聞いて、自分もしていると思ったので、自分達も気を付けないといけないと思った。
- ◎これからのお子さんにおこってくるネットやSNSを使ったデジタル性の暴力など、本当に怖いなあと思いました。
- ◎思っていたよりも、デートDVの種類が多く驚きました。1人1人が平等に認められることが根本的にない社会が日本にもあると知り、ショックです。日本も男女平等な社会になってほしいです。
- ◎DVは病気ではない、という部分。教育現場ではもっと導入したり、厚生プログラムの実施で意識の向上がはかれるのではないかと思いました。
- ◎ジェンダーとDVの関係性。離婚後の共同親権。DV(加害者)だった父親の動画
- ◎「紅茶と同意」の動画、はとても分かりやすくてよかったです。娘にも見せてあげたいと思った。自分を大切にしてもらいたい。